



凡 例	
浸水した場合に想定される水深(想定深)	
	0.5m未満の区域
	0.5~1.0m未満の区域
	1.0~2.0m未満の区域
	2.0~5.0m未満の区域
	5.0m以上の区域
	浸水想定区域指定の対象となる 水位情報提供河川区間
	河溝区間
	市町村境界

- 1 説明文**
- この図は、道賀川水系泉河内川の水位情報提供河川区間について、水防法の規定により指定する浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
 - この浸水想定区域は、平成19年3月の泉河内川における河川の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である「標準」(洪水全体で概ね10年に1回程度起こる大雨が降ったことにより泉河内川には想定した降雨を超える雨量が観測を、シミュレーションにより求めたものです。
 - なお、このシミュレーションの算出にあたっては、調整池区間ははん流、支川のはん流、指定を超える降雨、内水によるはん流等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される実際の浸水水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等**
- | | |
|---|---------------------------|
| (1) 作成主体 | 福岡県土木事務所 |
| (2) 作成年月日 | 平成27年12月22日 |
| (3) 告示番号 | 福岡県告示第281号 |
| (4) 指定の根拠となる法令 | 水防法(昭和24年法律第193号) 第14条第1項 |
| (5) 対象となる水位情報提供河川
(実施区間：県管理区間(起点から県管理区間下流端まで)) | 道賀川水系泉河内川 |
| (6) 指定の前提となる計画降雨
(標高川流域の1日雨量290mm相当) | 目的出峰上流域の2日雨量405mm |
| (7) 関係市町村 | 飯塚市、嘉麻市、桂川町 |
- (8) その他の計算条件等
- はん流計算は、対象区域を50メッシュに分割して、これを1単位として浸水高を計算しています。
 - 浸水想定区域や等深線は、はん流計算結果をもとに、1/2500、1/10000の地形図上の地形、建築物と重複物(道路や堤防など)を考慮して図化しています。
- ※水位情報提供河川とは浸水想定区域(水防法第13条で規定される特別警戒水位)への水位の計測情報を通知及び提供することを指します。